# 第２７回　花の国づくり共励会

# 花き技術・経営コンクール

# 受賞者の業績概要

平成３０年３月

一般財団法人日本花普及センター

# 第２７回花の国づくり共励会
# 花き技術・経営コンクール

# 表　　彰　　式

平成３０年3月１３日（火）
学士会館
東京都千代田区神田錦町３－２８
表彰式１３：３０～１４：３０
懇談会１４：３０～１５：３０頃

## 表　彰　式　次　第

１　開会あいさつ

２　審査講評
　　審査委員長　日本大学生物資源科学部　教授　腰岡政二

３　賞状授与

| | |
|---|---|
| 農林水産大臣賞 | ２点 |
| 農林水産省生産局長賞 | ２点 |
| 一般財団法人日本花普及センター会長賞 | ２点 |

４　祝　辞

５　記念撮影

６　懇談会
　　表彰式と記念写真撮影の終了後、出席者による懇談会を開催

# 第２７回花の国づくり共励会
# 花き技術・経営コンクール　受賞者一覧表

## 【農林水産大臣賞】

**戸﨑　明**（とさき　あきら）
**鉢物（ユリオプスデージー、フランネルフラワー、ジャスミン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタン）**
**岐阜県岐阜市**

**藤目　方敏**（ふじめ　まさとし）
**切り花（キク、スプレーギク）**
**愛知県田原市**

## 【農林水産省生産局長賞】

**角田　盛一**（かくた　せいいち）
**切り花（スィートピー、ヒマワリ、ユーカリ等）**
**栃木県河内郡上三川町**

**須永　健司・菜穂美**（すなが　けんじ・なおみ）
**鉢物・苗（ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、パンジー・ビオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニア、アレナリア等）**
**埼玉県鴻巣市**

## 【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

**徳永　憲昭**（とくなが　のりあき　）
**切り花・鉢物・苗（コチョウラン）**
**佐賀県佐賀市**

**森　敏朗・千佳子**（もり　としろう・ちかこ　）
**切り花（キク）**
**長崎県諫早市**

## 第２７回花の国づくり共励会　花き技術・経営コンクール

# 審　　査　　講　　評

第２７回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者の皆様方には心からお祝いを申し上げます。花き技術・経営コンクールは、花の国づくり都道府県協議会などより推薦がありました経営体について、６名の審査委員により、提出されました書類に基づく第１次審査と、現地での第２次審査を通して厳正に行われました。その結果、本共励会の最高賞である農林水産大臣賞には、次の２経営体が選ばれました。

岐阜県岐阜市の戸﨑明氏は、鉢物・苗生産の複合経営を営んでいます。平成５年に就農し、父親の花き経営に参画しました。平成１０年にFrontier Spirits Tosaki （F.S.T）を設立し自らの経営を開始しました。その後、コンパクトで厳格な企画に基づいた小鉢化と効率的ベンチ管理に基づいた生産量の増加による経営の安定化と、オリジナル品種の育成･導入による高い収益性の経営を目指し、平成２８年には法人化しました。取扱品目は、ユリオプシスデージー、フランネルフラワー、ジャスミン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタンなどです。

栽培面では、矮化剤の利用研究や花きの生理生態に合った商品づくりに心がけるとともに、オリジナル品種の育成・品種登録、海外新規品種の導入、海外ノーパテント品種の導入などF.S.T ならではの商品づくりに活用しています。

雇用面では、機械化・自動化を進め、各種作業の合理化を追求し、年間を通して十分な休日を確保できるように努めています。女性従業員のためにはフレックスタイム勤務を導入し、働きやすい環境の構築に務めています。また、小型軽量アルミ台車の導入で作業の効率性を高めています。

環境面では、低温耐性品種や病虫害抵抗性品種の選択により、省エネルギーや農薬負荷の低減に努めています。

出荷・販売面では、ラベルやパッケージングを工夫することで、流通小売を通して F.S.T 商品としての認識向上に努めています。また、業界情報や消費者情報の収集・活用に努めています。

このように、苗物・鉢物生産経営において、創意工夫により安定した生産・販売を維持していること、環境に配慮した生産を実施していること、過去３年間において出荷数量、経営収支ともに安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞にふさわしい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

愛知県田原市の藤目方敏氏は、スプレーマム専作経営を営んでいます。昭和５１年の就労当時は輪ギク・露地野菜の複合経営を営んでいましたが、平成２年にスプレーマムを導入し、次いで、平成４年にはスプレーマム専作経営に移行しました。さらに、平成１６年には有限会社ジャパンフラワードリーム（JFD）を設立し、平成２５年には北海道での生産を開始することで安定した生産・出荷が可能となりました。

栽培面では、フェンロータイプの高軒高施設、ソイルブロック育苗、高圧ナトリウムランプ、炭酸ガス発生装置などの最新技術を導入することで、高品質花きの作出と年間作付け数の増加などに繋げています。また、消費者ニーズに沿った約５０品種を周年出荷できる体制を作り上げています。

労働管理面では、ベルトコンベアや自動調製機の利用による大幅な時間の削減や鮮度保持の向上、無人防除機による消毒および施設内への車による苗の搬入や出荷などの作業の効率化で省力化が図られています。

環境面では、自ら設計したダクトによる炭酸ガス局所施用を利用した炭酸ガス施用量の削減、蒸気消毒機の利用による農薬削減と施設利用率の向上やエネルギー効率利用の取組みなどで環境保全や省エネルギーに寄与しています。

出荷・販売面では、消費者の多様なニーズに対応するために、５品種を１箱に入れたアソート出荷、抗菌剤を加えた水揚げ方式の湿式縦箱出荷なども取り入れています。また、環境制御によって出荷精度を高めるとともに予約相対取引割合を高めることで、安定した経営を確立しています。

このように、スプレーマム専作経営において、創意工夫により安定した生産・販売を維持していること、環境に配慮した生産を実施していること、過去３年間において出荷数量、経営収支ともに安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞にふさわしい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

農林水産省生産局長賞に選ばれました次の２経営体は、農林水産大臣賞に選ばれました経営体に収益性、あるいは、経営の安定性の上で僅かに及ばないものの、以下に述べる点で高く評価されました。

栃木県河内郡の角田盛一氏は、切り花生産経営を営んでいます。昭和６０年の就農に合わせ露地ギクの栽培を始めました。その後、平成２２年に法人化してカクタ花農場を設立し、露地ではユーカリ、施設ではスイートピー、ヒマワリなどを生産しています。栽培面では、県内では事例のないスイートピーの栽培に取り組みブランド出荷できる品質を確保しています。ヒマワリ栽培においてもコンテナ栽培法の開発で収益アップにつなげています。雇用管理面では、選花機や誘引ネットの導入による労力軽減、作業の見える化や標準化による効率化の取り組み、各種研修への参加など生産性の向上を図っています。環境面では、農薬散布回数の抑制やコンテナ栽培などにより環境負荷の軽減や安全性の高い作業環境の構築に心がけています。特にスイートピーでは、品質の高さから取引市場での輸出品目にも選ばれ海外PRにも努めています。このように、切り花生産経営に安定した経営を実現し、品質を重視した商品づくりで需要に応えていることが評価されました。

埼玉県鴻巣市の須永健司、菜穂美夫妻は、鉢物・苗生産の複合経営を営んでいます。平成１０年に民間会社から家業の農業に参画することで就農しました。平成１６年に独立して花きの周年生産に取り組み、平成１８年には有限会社花工房すながを設立しました。栽培面では、専門的技術が必要な栄養繁殖系の品目を積極的に導入するだけではなく、突然変異体の育種・品種登録などでオリジナル性を高めています。品種登録品種をシリーズ化することで営利販売を進め、ガザニアでは約８０％が契約栽培となっています。さらに、地域内の大規模直売所を活用することで、パンジー・ビオラ・マリーゴールドなど人気の高い種子繁殖系品種の栽培にも取り組んでいます。また、潅水情報の共有化や用土へのこだわりで高品質花きの作出に心がけています。労働面では、フォークリフトと台車を活用することによる労力

の軽減と労働時間の短縮や女性が働きやすい労働環境を整備することで、安定した雇用を確保しています。また、花育活動やフラワーマーケットの開催などで地域社会活動に貢献しています。このように、鉢物・苗生産の複合経営に安定した経営を実現し、地域農業の発展に寄与していることが評価されました。

一般財団法人日本花普及センター会長賞に選ばれました次の２経営体は、以下に述べる点で評価され本賞に値すると判断されました。

佐賀県佐賀市の徳永憲昭氏は、コチョウラン切り花・鉢物生産の複合経営を営んでいます。平成３年にラン栽培経営施設で１年２カ月の研修を受けた後、平成５年に就農しました。当初は生産性の高い切り花を主体とした経営を営んでいましたが、その後、鉢物生産割合を増やすことで経営の安定化を図っています。一方で、平成８年頃から育種に着手し既に２００品種の作出と８品種の品種登録に及んでいます。さらに、平成２７年からは海外へ自社品種の販売を始めています。栽培面では、コチョウラン栽培に応じた温度環境と光環境の適切化を徹底することで、地下部に貯蔵養分を蓄積させ長く楽しむことができる株作りに心がけています。労働面では、栽培ベンチ高の適切化や鉢容器の軽量化などが、大幅な労力軽減に繋がっています。環境面では、ヒートポンプの導入による省エネルギー化や食物繊維や微生物資材を使った農薬低減に取り組んでいます。このように、コチョウラン切り花・鉢物生産の複合経営において安定した経営を実現し、地域農業の発展に貢献していることが評価されました。

長崎県諫早市の森敏朗・千佳子夫妻は、キク切り花経営を営んでいます。森敏朗氏は１年間の研修を受けた後、平成１１年に就農しキク栽培に従事しました。生産効率の高い施設への改修・改築や高規格ハウスの整備などで、省力化や作業の効率化を進めてきました。シェード導入施設では年間３作を実践し単収向上を図っています。また、土壌改善を図るとともに土壌分析による肥培管理により、品質向上に取り組んでいます。労働面では、直挿し栽培や無側枝性品種の導入により定植や芽かき作業の軽減を図っています。また、自動換気、循環扇、自動カーテン、自動選花結束機などの導入により大幅な省力化を図り、品質管理に労働力を集中しています。環境面では、ヒートポンプや蛍光球の導入による省エネルギー化を図っています。さらに、消費者ニーズに合わせた切前の導入やディスバッドマムなど新たな品目を取り入れることで、年間を通した安定販売に努めています。このように、キク切り花経営において安定した経営を実現し、地域農業の発展に貢献していることが評価されました。

わが国では相変わらず天候不順な状態が続いています。平成２９年は全国的に晩夏から秋にかけての台風上陸数が多く、また秋雨前線の活発化による長雨や寡日照のため、農作物の生育不良や開花遅延などの影響が懸念されました。そのような中で、今年度の審査会において推薦のあった多くの経営体が、栽培技術の高度化により生産効率を高めるとともに、生産コストや環境負荷の低減に努める一方、消費者ニーズに合う品目・品種の選択、オリジナル品種の育成、あるいはブランド品目の育成、新しい需要の開拓などに力を注ぎ、着実な経営に腐心されていることに心強く感じました。

わが国の花き産業は、農業を取り巻く環境と同様に依然厳しい状況にありますが、平成２６年６月に公布された花きの振興に関する法律を後ろ盾としてようやく復調の兆しが見え始めようとしています。このような中で、花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に向けて、今後とも一層のご尽力を賜りますようにお願いし、審査講評といたします。

平成３０年３月１３日
審査委員長
腰　岡　政　二

## 【農林水産大臣賞】

**戸﨑　明　　岐阜県岐阜市**
**鉢物（ユリオプスデージー、フランネルフラワー、ジャスミン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタン）**

戸﨑　明氏は、大学卒業後１年間海外留学研修（花き、語学）を受け、平成５年に後継者として父の花き経営に参画した。平成１０年に独立してＦ・Ｓ・Ｔ（Frontier　Spirits Tosaki の頭文字）を設立して経営を開始し、平成２８年には、株式会社Ｆ・Ｓ・Ｔを設立し代表取締役に就任した。この間、岐阜県花き流通センター農業協同組合理事、常務理事を歴任し現在専務理事を務めている。

花きの経営品目は、父の経営するユリオプスデージー、ブルーデージー、オステオスペルマム、ハシカンボク、スノーサンゴ、ゴールデンクラッカー等から選択し、栽培技術面では、矮化剤を有効利用したコンパクトで厳格な規格に基づいた小鉢化を効率的ベンチによる生産量の最大化に取り組み、経営の安定化に努めている。

具体的には、挿し芽以降に各苗の生長過程で生ずる規格のバラつきを見極め、ハウス内の環境制御に努めると共に、出荷時の均一に揃った草姿を想定し、ピンチ作業、矮化剤の処理についても各品目の生理生態を理解した上で細心の注意を払っている。また、不良品を極力発生させない努力やオリジナル品種の重要性を認識しており、県の育成品種、海外の優良品種の導入を行うと共に自家育成にも努め、フランネルフラワーでは、「天使のウインク」を育成、平成２８年に品種登録し高い販売単価を確保している。

出荷・販売に当たっては、ラベルをはじめパッケージングのデザインを工夫して商品全体に統一感を演出し、市場・販売店・消費者まで一目見て「Ｆ・Ｓ・Ｔの商品」と認識してもらえるように努めている。また、自らの武器である行動力・コンタクト力を生かし、花き関係者、企業に赴き情報の収集に心がけている。

労働軽減や雇用管理等については、機械化、自動化を進め休日の確保や子育て世代の女性従業員の働きやすいようにフレックスタイム勤務を導入し、出欠勤や従業時間についても配慮し、加えて女性従業員にも手軽に扱えるように小型軽量アルミ台車を３２台導入し、効率的に作業が進められるように配慮している。環境保全や省エネルギーについては、低温耐性の強い品目の選択、無加温栽培の導入、病害虫に罹りにくい品目・品種の選択や残留農薬の低減、緩効性肥料の活用に努めている。

平成２９年８月には、法人として認定農業者となり、中学生の職場体験学習の受入れ、県立農林高校生のインターンシップ学習等次世代を担う子供達への社会教育を通して地域への貢献にも努めている。

左から　戸﨑　由美子　　戸﨑　明
ハウスにて

ビニールハウス入口前

フランネルフラワー

## 【農林水産大臣賞】

**藤目　方敏　　愛知県田原市**
**切花（キク、スプレーギク）**

藤目方敏氏は、昭和５１年に高校卒業後に後継者として就農し、輪ギク、露地野菜の複合経営に従事した。

平成２年にスプレーマムを導入し、平成５年に４名の仲間を作り赤羽根町農協スプレーマム部会を発足、更に平成１６年に有限会社ジャパンフラワードリーム（ＪＦＤ）を設立し、現在、藤目氏と５戸の生産者でスプレーマム、ディスバットマム等年間約５００万本を出荷している。

氏が生産している主な品種は、年間を通じて出荷する約３０品種と契約品種約２０品種があり、合わせて約５０品種を栽培している。生産に当たっては、国内・海外の種苗会社、資材メーカー等から常に情報収集することで世界の新品種や新技術をいち早く把握し、ソイルブロック、高圧ナトリユウムランプ、フエンロータイプの高軒高施設、ベルトコンベアによる収穫システム、冬季の品質向上のための局所式の炭酸ガス発生装置等の最新技術を積極的に導入している。また、秋でも高品質の秋系品種を出荷できる第２農場（北海道日高郡）を設置し、合理的で安定的な運営をしている。

作業の省力化の部面では、ベルトコンベアを使った一斉採花、フラワーバインダを使った調製、ほ場に設置した冷蔵庫により収穫調製作業の大幅な時間短縮と鮮度保持、無人防除機の導入等の工夫をしている。

環境保全や省エネルギーについては、炭酸ガスの施用に当たって自ら設計したダクトによる局所施用と濃度制御を行って施設全面施用に比べて１０分の１程度に抑えていること、土壌消毒機の導入、消費電力の少ないＬＥＤ電球への切り替えを進めている。

出荷・販売に当たっては、「市場が欲しがる時期に、欲しがるものを確実に出荷できること」が産地に必要であるとの考えから、年６回の需要期には、全量予約相対取引をしており、更には、「湿式縦箱出荷」等の工夫を行っている。

また、昇給やボーナスを支給する体制の明示等労働意欲向上に繋がる雇用管理を行っており、更に新技術や新資材は常にオープンにすること、経営不振農家への技術的、経営的な支援、並びに長男健太氏が主体となって行っている花き生産施設のオープンハウス「ＦＨＯＤ（フオード）＝Flower　House　Open　Day」では、これまで培った経験に基づいたアドバイスを頻繁に行うなど地域社会活動も積極的である。

左から藤目　裕也（次男）　藤目　方敏　　藤目　健太（長男）
出荷場前にて

ハウス内

ソイルブロック苗の定植の様子

## 【農林水産省生産局長賞】

**角田　盛一　　栃木県河内郡上三川町**
**切り花（スイートピー、ヒマワリ、ユーカリ等）**

角田盛一氏は、昭和６０年に就農し、露地ギクの栽培を始めた。平成元年からビニールハウスにおいて施設ギクを始め、平成６年からスイートピー、デルフィニウムの栽培を開始した。平成７年以降計画的に温室を建設し花きの周年安定生産を行うと共に、平成２２年には、法人化し株式会社カクタ花農場を設立し代表となって、現在は、小山花卉園芸組合（ＪＡおやま事務局）の副組合長を務めている。なお、平成２８年には、産業労働観光部の県単事業を活用し、現場改善のプロによる指導を仰ぎ、法人化に伴い従業員を雇用したことやパートを１０名以上雇用していることから、現場改善により作業の効率を上げている。

栽培管理に当たっては、スイートピーは、つる下げ誘引作業に時間がかかるが、誘引が簡単に出来るネットの導入等により作業の効率化を図ると共に選花機の導入を行い労力軽減や面積拡大につなげている。ヒマワリは、ユリ球根の輸入時に使用するコンテナを活用した栽培法を考え、年３回転して坪当たり２万円の実績を上げている。

環境保全や省エネルギーについては、スイートピーは、気温を低めに管理することにより農薬散布を減らし環境負荷の軽減や従業員も安心して作業に取り組めるように心がけており、ヒマワリは、コンテナ栽培により長期にわたって持続的に栽培できるように工夫している。

出荷、販売に当たっては、品質重視の栽培に心がけており、品質が評価されて市場が取り組むオランダへの輸出品目の一つに選定された。また、フェイスブック等ＳＮＳを情報発信や他産地の生産者、市場の情報交換に活用している。

地域社会活動については、「身近に花を、小さい頃から花に親しんでほしい」との考えから、１０年前から近隣の小中学校への花（スイートピー）の提供を行っているほか、地元中学校で年２回フラワーアレンジメント授業の講師を務めている。

また、町内産花きを中心に花の日持ちや産地紹介等を行い生徒等から好評を得ており、本取り組みを実施したことにより地域の小中学校において花育が始まり、４校が事業を実施している。

花卉園芸組合では、産地見学会を開催し、市場や流通業者、生花店を産地に招き生産現場の理解促進や消費動向等の情報交換を行い販売促進にも力をいれている。

## 【農林水産省生産局長賞】

**須永　健司　　須永　菜穂美　　埼玉県鴻巣市**

**鉢物・苗（ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、パンジー・ビオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニア、アレナリア等）**

須永健司氏は、平成１０年にそれまで勤めていた会社を退職して家業である農業に参画し、当初は、主穀作＋花き鉢物経営を行っていた。

平成１６年に父親の経営から独立し花き周年生産に取り組み、平成１８年に法人化して「有限会社花工房すなが」を設立して代表取締役に就任、妻の菜穂美氏が取締役となって雇用、労務管理等を担い会社の経営に尽力している。

平成１３年には、ヨーロッパの視察研修に参加し作物生産と農場経営の研修を受け、平成１９年には、ガザニアの選抜育種に取り組みオリジナル商品開発（既登録７品種）を手掛けると共に近隣の花き直売所「パンジーハウス」で直売を開始し、種子繁殖品目を年間通じて出荷販売をしている。

栽培管理の部面では、用土やかん水にこだわり品質の高い苗物の生産に努めており、平成２６年の雪害も克服して順調に販売を伸ばし利益を確保している。

即ち、栽培開始時から個々の株の生育状況や施設内の環境条件を把握するため手かん水を行っており、これにより一鉢ごとの生育状況を的確に把握できるようになり、生育に応じたかん水量調整や置き場の移動が可能になり、株の均一な生育と品質の確保に繋がっている。

環境保全や省エネルギーについては、作物の耐寒性を考慮した作付体系を採っていること、毎年、保温開始前には被覆材の補修、点検に取り組み、極力ロスが出ないよう施設管理の強化を行っている。

労働軽減や雇用管理等に当たっては、菜穂美氏が女性の視点で働きやすい環境づくりを進め、休暇や時短勤務等も柔軟に対応し働きやすい職場にしている。

また、苗物中心の栽培は、重量がかさむので、台車やフォークリフト等を活用して労働安全に配慮している。

出荷・販売に当たっては、オリジナル品種を活用した有利販売、地域内に大きな直売所があることから花色、花型など消費者の需要に応える地域性を活かした販売に取り組んでいる。

なお、地域社会活動の特色として、花育活動の推進、地元小学生の受け入れ、花を活用した地域おこし活動等市教育委員会や地元小学校等と連携した活動に努めているほか、他産業からＵターンした経験など農業以外の世界のことを後継者のグループ会員に伝え、視野を広く持てるよう意識改革を促している。

## 【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

**徳永　憲昭　　佐賀県佐賀市**
**切り花・鉢物・苗（コチョウラン）**

徳永憲昭氏は、高校卒業後埼玉県下の洋ラン園で研修を受け、平成５年に就農した。現在は、コチョウランの鉢物、切り花、苗生産を行っており、毎年度佐賀県花き園芸共進会において受賞（平成２８年度は、鉢物の部において農林水産大臣賞）している。

コチョウランは、環境に敏感な植物で、特に開花室での生育に合わせた環境づくりが最も重要であるので､冷暖房機の使用により季節や外気温に適応した温度管理を可能にしている。また、光の透過性が高いガラス室の特性を活かして採光を最大限にし、４重カーテン（遮光・保温）を可能にしながら生育に合わせた環境づくりを徹底している。これにより外観だけでなく地下部の生育を良好にさせて貯蔵養分を多く蓄積させ、購入者が長く楽しむことができる株に仕上げるよう心がけている。

労働軽減や雇用管理については、常時雇用者に対して栽培、出荷、調製作業の指導を重点的に行い、常時雇用者からパートへと指導を行うシステムづくりを構築してきたことで、徳永氏は販売活動に力を入れ、雇用者に栽培面を担ってもらう役割分担が出来た。また、作業環境については、栽培ベンチの改良、培土容器の軽量化を図り大幅な労力軽減に繋がっている。

環境保全や省エネルギーについては、従業員や家族、消費者の健康を考慮して薬剤使用の低減、ヒートポンプの導入による光熱費の削減に取り組んでいる。

出荷、販売に当たっては、高齢者に対しては新聞広告、若者に対してはインターネット広告を利用するなど年齢層に合わせた広告の媒体を考えて情報発信を行っている。また、現在栽培している２０品種のうち７品種がオリジナル品種（品種登録は８品種）であり、全体の９割を占め出荷量の約８割が予約相対で取引きされている。

なお、育種は、交配して種子を採り、苗を育てて選抜したものを増殖業者に委託して苗を作り、それを再び選抜し業者委託するという工程である。これまでに自社製品のクローン化や他農家への品種販売に取り組んでおり、平成２７年から海外へ苗での品種販売を始めている。

地域社会活動については、就農後、地域の農業青年クラブや青年農業士会に属し、地域との交流を活発に行っており、地元の中学校や農業高校から講師や視察などの依頼が多く、これにも積極的に受け入れている。

なお、現在、佐賀花市場の取締役として生産者と花屋を繋ぐ役割も担っている。

## 【一般財団法人日本花普及センター会長賞】

**森　敏朗　　森　千佳子　　長崎県諫早市**
**切り花（キ　ク）**

森　敏朗氏は、高校卒業後１年間市場へ研修生として赴き市場流通について学び、研修終了後就農しキク栽培に従事した。

経営が軌道に乗ると自己資金で既存のハウスの改善、改築を行い、親から引き継いだ生産施設を効率的な施設に作り変えた。また、規模拡大には、補助事業を活用し、高規格ハウスを整備することで省力化や作業の効率化を推し進めてきた。

栽培技術については、シェード施設を導入しているハウスでは、秋ギク２作、夏秋ギク１作の年間３作を実践し、単収向上を図っている。また、年に一度深耕を行うことで土壌物理性の改善を図ると共に、土壌分析による施肥量の適正化及び生育に合わせた液肥、葉面散布による細やかな肥培管理により品質向上に努めている。

労働軽減や雇用管理については、自動換気、循環扇、自動カーテン、自動選花結束機の導入により栽培管理や選花作業の大幅な省力化を図り品質管理の徹底に労働力を集中している。

環境保全や省エネルギーについては、土壌改良材を活用した土作りを行い土壌の保水性、通気性の改善に取り組み、キクの高品質化、ロス率の低下に努めている。また、ヒートポンプ及び蛍光球導入による省エネ化、直挿し栽培技術を導入した省力化、無側枝性品種「精の一世」導入による摘芽、摘蕾作業の軽減を図る省力化技術、品種の導入を進めている。

出荷・販売については、市場から信頼される産地づくりの取組み、販路の強化、消費者ニーズに沿った栽培の取組み､ディスバットマム等新規品目の導入等を部会活動､現地検討会、市場動向調査等を通じて取り組んでいる。

氏は、県花き振興協議会キク部会事務局長を歴任するなど花き産業の発展に寄与すると共に飯盛地区認定農業者協議会リーダー（平成２７～２８年度)、農地水環境保全対策の活動リーダー（平成２６年～現在)、諫早キク出荷組合長を務めており、妻千佳子氏は、父、母と共に家族経営協定を結び、経営、労務管理等において敏朗氏とパートナーシップを発揮し経営の発展に尽力している。

また、産地の維持拡大、新規就農対策のため、県で取り組みが始まっている受入団体登録制度に組合長として団体登録を行っており、新規就農者の研修受け皿として支援を実施している。

（参考資料１）

# 花の国づくり共励会　花き技術・経営コンクール受賞者一覧

平成30年3月13日

| 回（年度） | 受賞区分 | 都道府県 | 受賞者名 | 生産品目 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 27回（29年度） | 農林水産大臣賞 | 岐阜県 | 戸﨑　明 | ユリオプスデージー、フランネルフラワー、ジャスミン、ブルーデージー、 スノーサンゴ、ノボタン（鉢物） | |
| 27回（29年度） | 農林水産大臣賞 | 愛知県 | 藤目　方敏 | キク、スプレーギク（切り花） | |
| 27回（29年度） | 生産局長賞 | 栃木県 | 角田　盛一 | スィートピー、ヒマワリ、ユーカリ等（切り花） | |
| 27回（29年度） | 生産局長賞 | 埼玉県 | 須永　健司<br>須永　菜穂美 | ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、パンジー・ビオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニア、アレナリア等（鉢物・苗） | |
| 27回（29年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 佐賀県 | 徳永　憲昭 | コチョウラン（切り花・鉢物・苗） | |
| 27回（29年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 長崎県 | 森　敏朗<br>森　千佳子 | キク（切り花） | |
| 26回（28年度） | 農林水産大臣賞 | 愛知 | 曽田　義則 | サボテン類、アロエ、エケベリア、カランコエ、クラッスラ、セダム、 ハオルチア、ユーフォルビア等（鉢物） | |
| 26回（28年度） | 農林水産大臣賞 | 福岡 | 坂本　和盛 | シクラメン、アジサイ、バラ（鉢物） | |
| 26回（28年度） | 生産局長賞 | 埼玉 | 篠　太一 | ポインセチア、マリーゴールド、インパチェンス、ノースポール（鉢物・苗物） | |
| 26回（28年度） | 生産局長賞 | 岐阜 | 白木　裕人 | ヤブコウジ、ブルーベリー等（鉢物・苗物） | |
| 26回（28年度） | 生産局長賞 | 熊本 | 五蘭塾（塾長　中川圭太） | オンシジュウム、ファレノプシス、エピデンドラム、デンファレ等（切り花・鉢物） | |
| 26回（28年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 長崎 | 丸田　浩行 | キク（切り花） | |
| 25回（27年度） | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 萩原　幸一 | ケイトウ、ポインセチア、プリムラ、アップルゴーヤ、縄文ネギ（鉢物・花壇苗） | |
| 25回（27年度） | 農林水産大臣賞 | 愛知 | 近藤　晴義 | ガーデンバラ苗、ミニツルバラ（鉢物・花苗） | |
| 25回（27年度） | 生産局長賞 | 福島 | 佐藤　幸一<br>佐藤　朝子 | シクラメン、アジサイ、ユリ、チューリップ、カーネーション（鉢物） | |
| 25回（27年度） | 生産局長賞 | 佐賀 | 平田　憲市郎<br>平田　志緒梨 | カーネーション（切り花） | |
| 25回（27年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 岩手 | 岩手ふるさと農協園芸部会りんどう専門部<br>（代表者　鈴木　喜一） | リンドウ（切り花） | |
| 25回（27年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 広島 | 有田　隆則 | パンジー、ビオラ、マリーゴールド、ペチュニア、ニチニチソウ(花壇苗） | |
| 25回（27年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 長崎 | お花屋さん百花園有限会社<br>代表　渡邊　徳昭 | キク（切り花） | |
| 24回（26年度） | 農林水産大臣賞 | 岩手 | 新岩手農業協同組合<br>八幡平花弁生産部会<br>（代表者　高村敏彦） | リンドウ（切り花・鉢物） | 第54回農林水産祭<br>天皇杯受賞 |
| 24回（26年度） | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 朝見 良治 | ガーデンシクラメン、ポットカーネーション、イベリス、ラナンキュラス、ペラルゴニウム、ポインセチア、ニチニチソウ、クロサンドラ、カラー、プリムラ等（鉢物・苗物） | |
| 24回（26年度） | 生産局長賞 | 愛知 | 梶　　孝光 | コギク(切り花） | |
| 24回（26年度） | 生産局長賞 | 福岡 | 豊田　　武<br>豊田 千代子 | キク、トルコギキョウ、アスター等(切り花） | |
| 24回（26年度） | 生産局長賞 | 長崎 | 前田 耕一<br>前田 綾子 | シキミ等（切葉） | |
| 24回（26年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | 島部 勝昌 | エラチオールベゴニア(鉢物） | |
| 23回（25年度） | 農林水産大臣賞 | 山形 | 大築 義雅<br>大築 実千代 | ミニシクラメン、カーネーション、ハボタン、その他花苗（鉢物・苗物） | |
| 23回（25年度） | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | フカヤスリーエフクラブ<br>（代表者　関和勝宏） | ユリ（切り花） | |
| 23回（25年度） | 生産局長賞 | 岩手 | 坂戸 明夫<br>坂戸 チヨ | リンドウ（切り花） | |
| 23回（25年度） | 生産局長賞 | 愛知 | 荒木 祥充 | アンスリウム、フィロデンドロン、アナナス類、カラテア、ヘリコニア，シダ類等（鉢物） | |
| 23回（25年度） | 生産局長賞 | 長崎 | 吉塚 正弘　吉塚 友子 | カーネーション、ガーベラ(切り花） | |
| 23回（25年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | 高橋 明利 | ガーベラ(切り花） | |
| 23回（25年度） | （一財）日本花普及センター会長賞 | 福井 | JAテラル越前キク部会<br>（代表者　三浦慶昭） | コギク、リンギク（切り花） | |
| 22回（24年度） | 農林水産大臣賞 | 福島 | 有限会社矢祭園芸<br>代表金澤 善浩 | カーネーション、シクラメン、シュウメイギク、プリムラポリアンサ、プリムラマラコイデス等（鉢物・苗物） | |
| 22回（24年度） | 農林水産大臣賞 | 愛知 | 株式会社豊楽園<br>（取締役会長　斎藤豊治）<br>（代表取締役社長　斎藤健治） | フィロデンドロン、フィットニア、プミラ、ワイヤープランツ、シンゴニウム、ペペロミア等（鉢物） | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 22回(24年度) | 生産局長賞 | 福岡 | 花田 哲治<br>花田 泰子 | バラ、ユリ(切り花) | |
| 22回(24年度) | 生産局長賞 | 沖縄 | 新垣　進 | コギク(切り花) | |
| 22回(24年度) | 生産局長賞 | 石川 | 金沢市砂丘地集出荷場<br>フラワー部会 | ストック、切り花ハボタン、フリージア(切り花) | |
| 22回(24年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 坂井 浩一郎 | キク(切り花) | |
| 22回(24年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岩手 | いわい東農業協同組合<br>花き部会小菊専門部 | コギク(切り花) | |
| 21回(23年度) | 農林水産大臣賞 | 佐賀 | 小柳 誠五　小柳 一枝 | ユリ(切り花) | |
| 21回(23年度) | 生産局長賞 | 神奈川 | 有限会社五領ケ台ガーデン<br>(代表取締役　窪田敬一) | シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ナスタチューム、プリムラジュリアン等(鉢物) | |
| 21回(23年度) | 生産局長賞 | 愛知 | 稲垣 長太郎 | カーネーション(切り花) | |
| 21回(23年度) | 生産局長賞 | 長崎 | 有限会社金原園芸<br>(代表取締役　金原由紀男) | キク(切り花) | |
| 21回(23年度) | 生産局長賞 | 熊本 | 坂崎 改輝<br>坂崎 久子 | シュッコンカスミソウ(切り花) | |
| 21回(23年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 埼玉 | 吉澤 明弘 | シクラメン、ハイビスカス、オステオスペルマム、ビオラ、クリサンセマム等(鉢物) | |
| 21回(23年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 福岡 | 牛島 博文 | ガーベラ(切り花) | |
| 21回(23年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | JAひだ花弁出荷組合　菊部会<br>(代表者　野谷智樹) | キク(切り花) | |
| 20回(22年度) | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 有限会社横川花園<br>代表取締役横川保次 | ユリ、チューリップ、ギボウシ等(鉢物) | |
| 20回(22年度) | 生産局長賞 | 岐阜 | 河合　　修 | アルストロメリア(切り花) | |
| 20回(22年度) | 生産局長賞 | 福岡 | 安田　克徳<br>安田　節子 | サカキ、花桃、ニュウサイラン、しめ縄、門松、松竹梅等(花木・枝物類) | |
| 20回(22年度) | 生産局長賞 | 長崎 | 山口　政則<br>山口　和代 | カーネーション(切り花) | |
| 20回(22年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 愛知 | 伊藤　正規 | シンビジウム、コチョウラン、ミルトニア(鉢物洋らん類) | |
| 19回(21年度) | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 塩原　茂夫 | アジサイ、ポインセチア(鉢物) | |
| 19回(21年度) | 農林水産大臣賞 | 大分 | 有限会社お花屋さんぶんご清川<br>代表取締役社長　小久保恭一 | リンギク(切り花) | 第49回農林水産祭<br>天皇杯受賞 |
| 19回(21年度) | 生産局長賞 | 宮城 | 石巻農業協同組合<br>花弁部会ガーベラ班 | ガーベラ(切り花) | |
| 19回(21年度) | 生産局長賞 | 愛知 | 櫛田 倉司 | リンギク(切り花) | |
| 19回(21年度) | 生産局長賞 | 大阪 | 梶本 定敏 | ユリ、アイリス等(球根切り花) | |
| 18回(20年度) | 農林水産大臣賞 | 愛知 | 小松　英雄 | アンスリーム(鉢物) | |
| 18回(20年度) | 農林水産大臣賞 | 福岡 | 浜野　重登<br>浜野　明美 | バラ(切り花) | |
| 18回(20年度) | 生産局長賞 | 埼玉 | 安藤　　貢 | アガパンサス等(苗物) | |
| 18回(20年度) | 生産局長賞 | 岐阜 | 有限会社サンコフ | セントポーリア等(鉢物) | |
| 18回(20年度) | 生産局長賞 | 大阪 | 稲治　義彦 | シャクヤク等(露地花き) | |
| 18回(20年度) | 生産局長賞 | 長崎 | 柴田　定實<br>柴田　富子 | キク(切り花) | |
| 18回(20年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 石井　克明 | バラ(切り花) | |
| 17回(19年度) | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 黒臼　秀之 | コチョウラン(鉢物) | |
| 17回(19年度) | 農林水産大臣賞 | 岐阜 | 吉田　正博 | ガーベラ等(鉢物) | |
| 17回(19年度) | 生産局長賞 | 千葉 | 平野　圭祐 | アンスリウム(切り花) | |
| 17回(19年度) | 生産局長賞 | 神奈川 | 加藤　　悟 | シンピジウム(鉢物) | |
| 17回(19年度) | 生産局長賞 | 愛知 | 平野　和美<br>平野　照美 | ポインセチア等(鉢物) | |
| 17回(19年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 石橋　正基 | カーネーション(切り花) | |
| 16回(18年度) | 農林水産大臣賞 | 千葉 | 丸朝園芸農業協同組合　花弁部<br>(部長)飯高　重雄 | サンダーソニア等(切り花) | |
| 16回(18年度) | 農林水産大臣賞 | 福岡 | 空閑　善実<br>空閑　桂子 | パンジー等(苗物) | |
| 16回(18年度) | 生産局長賞 | 鹿児島 | サンライズグリーンヒル<br>観葉生産組合<br>(代表者　福留　健一) | オーガスタ等(観葉植物) | |
| 16回(18年度) | 生産局長賞 | 愛知 | 伊藤　勝久 | シクラメン等(鉢物) | |
| 16回(18年度) | 生産局長賞 | 長崎 | 立石　俊一 | バラ(切り花) | |
| 16回(18年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岩手 | 澤瀬　一男<br>澤瀬　ロシタ | コギク等(切り花) | |
| 16回(18年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 大阪 | 樋口　喜善 | パンジー等(苗物) | |
| 16回(18年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 真子　徳幸 | キク(切り花) | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 15回(17年度) | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 田島　　嶽 | ガーデンシクラメン(苗物) | |
| 15回(17年度) | 生産局長賞 | 群馬 | 小倉　文雄 | シクラメン等(鉢物) | |
| | 生産局長賞 | 愛知 | 内藤　完次 | バラ(切り花) | |
| 15回(17年度) | 生産局長賞 | 長崎 | JA壱岐市花き部会<br>(代表者)下條利一 | コギク等(切り花) | |
| 15回(17年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | 高木　兼雄 | スパティヒィラム(鉢物) | |
| 15回(17年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 沖縄 | 玉城　昌伸 | キク(切り花) | |
| 15回(17年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 沖縄 | 蔵下　良彦 | キク(切り花) | |
| 14回(16年度) | 農林水産大臣賞 | 東京 | 八丈島農業振興青年研究会<br>鉢物部会 | フェニックス等(鉢物) | |
| 14回(16年度) | 農林水産大臣賞 | 岐阜 | 株式会社西垣園芸<br>西垣　正俊 | オステオスペルマム(苗物) | |
| 14回(16年度) | 生産局長賞 | 宮城 | 株式会社ハニーローズなんごう<br>(代表者)楢山 恒雄 | バラ(切り花) | |
| 14回(16年度) | 生産局長賞 | 愛知 | 株式会社H&Lプランテーション<br>鵜飼　敏之 | パンジー等(苗物) | |
| 14回(16年度) | 生産局長賞 | 福岡 | 高橋　三千年<br>高橋　節子 | バラ(切り花) | |
| 14回(16年度) | 生産局長賞 | 鹿児島 | 小村　幸一 | パキラ等(観葉植物) | |
| 14回(16年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 大阪 | 神藤　正和 | ハボタン等(苗物) | |
| 14回(16年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 大阪 | 谷嵜　隆雄 | ハナモモ等(切り枝花木) | |
| 14回(16年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 徳島 | 尾崎　進一郎 | シンピジウム(鉢物) | |
| 14回(16年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 松永　宏隆 | ユリ(切り花) | |
| 14回(16年度)<br><br>13回(15年度) | (財)日本花普及センター会長賞<br><br>農林水産大臣賞 | 長崎<br><br>徳島 | JA東長崎菊部会<br>(代表者)松尾 修一<br>有限会社岸本農園<br>岸本　　昇　岸本ときこ | キク(切り花)<br><br>ハイビスカス等(鉢物) | |
| 13回(15年度) | 農林水産大臣賞 | 鹿児島 | 有限会社南原農園<br>南原　武博 | ジャスミン等(切り花) | |
| 13回(15年度) | 生産局長賞 | 岐阜 | 有限会社白木園芸<br>白木　和彦　白木ふさ子 | レッドロビン等<br>(洋蘭・観葉植物) | |
| 13回(15年度) | 生産局長賞 | 佐賀 | 宮崎　憲治 | スイトピー等(切り花) | |
| 13回(15年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | JAひだ花弁出荷組合<br>益田支部　(代表者)中川　剛 | キク等(切り花) | |
| 13回(15年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 愛知 | 山田　則明 | カーネーション等(切り花) | |
| 13回(15年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 福岡 | 緒方　久幸 | ガーベラ(切り花)く | |
| 13回(15年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 長崎 | 西海菊出荷組合<br>(代表者)川内 通良 | キク(切り花) | |
| 12回(14年度) | 農林水産大臣賞 | 愛知 | 石井　義明 | アルストロメリア(切り花) | 第42回農林水産祭<br>内閣総理大臣賞受賞 |
| 12回(14年度) | 生産局長賞 | 埼玉 | 成澤　勝司 | マリーゴールド(苗物) | |
| 12回(14年度) | 生産局長賞 | 鹿児島 | 柴嵜　喜好 | アイビー等(切り花) | |
| 12回(14年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岩手 | 石川　正樹<br>石川　結花 | ユリ(切り花) | |
| 12回(14年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | 川端　芳彦<br>川端　葉子 | ユリ等(切り花) | |
| 12回(14年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 香川 | 稲田　良弘 | コチョウラン(鉢物) | |
| 12回(14年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 香川 | 小西　幸彦 | マツ(盆栽) | |
| 12回(14年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 徳永　健史 | コチョウラン(切り花・鉢物) | |
| 11回(13年度) | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 小林　滋幸 | カランコエ((鉢物) | |
| 11回(13年度) | 農林水産大臣賞 | 長崎 | JA北高電照菊研究会<br>(代表者)大谷 虎次 | キク(切り花) | |
| 11回(13年度) | 生産局長賞 | 埼玉 | 田中　　勲 | シクラメン等(鉢物) | |
| 11回(13年度) | 生産局長賞 | 岐阜 | 河野　鉄博<br>河野　常子 | ラナンキュラス等(切り花) | |
| 11回(13年度) | 生産局長賞 | 愛知 | 林　　富造<br>林　　房子 | シンピジウム(鉢物) | |
| 11回(13年度) | 生産局長賞 | 佐賀 | 菖蒲　正行 | トルコギキョウ等(切り花) | |
| 11回(13年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈良 | 中辻　栄治 | キク(切り花) | |
| 11回(13年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 広島 | 石田　律恵 | レースフラワー等(切り花) | |
| 11回(13年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 徳島 | 阿部　雅志 | シンピジウム(鉢物) | |
| 11回(13年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 香川 | 森　　崇 | バラ(切り花) | |
| 11回(13年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 福岡 | 高杢　義邦 | ユリ等(切り花) | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 10回(12年度) | 農林水産大臣賞 | 岐阜 | 大西　隆 | ミニバラ(鉢物) | 第40回農林水産祭<br>天皇杯受賞 |
| 10回(12年度) | 農林水産大臣賞 | 鹿児島 | 沖永良部花き流通センター<br>(代表者)泉　貞吉 | テッポユリ等(切り花) | |
| 10回(12年度) | 生産局長賞 | 群馬 | 林　康夫 | シクラメン等(鉢物) | |
| 10回(12年度) | 生産局長賞 | 香川 | 農事組合法人香花園<br>(代表者)保坂重雄 | カーネーション(切り花) | |
| 10回(12年度) | 生産局長賞 | 大分 | 有限会社メルヘンローズ<br>(代表者)小畑和敏 | バラ(切り花) | |
| 10回(12年度) | 生産局長賞 | 沖縄 | 玉城　哲弘 | キク(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岩手 | 谷藤　幸子 | リンドウ等(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 山梨 | 農事組合法人<br>白根フラワーコーポラティブ | インパチェンス等(鉢物) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 愛知 | 伊奈　義就 | キク(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 徳島 | 宮脇　孝 | キク(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 香川 | 藤本　傳夫 | キク(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 福岡 | 中園　英治 | キク(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 長崎 | 江頭　富春 | カーネーション等(切り花) | |
| 10回(12年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 鹿児島 | 富田　良成 | バラ(切り花) | |
| 9回(11年度) | 農林水産大臣賞 | 埼　玉 | 奥富　良雄 | チューリップ等(苗物) | |
| 9回(11年度) | 農林水産大臣賞 | 愛　知 | 角田　隆幸 | ハボタン等(苗物) | 第39回農林水産祭<br>内閣総理大臣賞受賞 |
| 9回(11年度) | 農産園芸局長賞 | 宮　城 | 宮城県南三陸農業協同組合　花き部会 | キク(切り花) | |
| 9回(11年度) | 農産園芸局長賞 | 山　梨 | 渡辺　喜市 | サンダーソニア等(切り花) | |
| 9回(11年度) | 農産園芸局長賞 | 滋　賀 | 小杉　長男 | シクラメン等(鉢物) | |
| 9回(11年度) | 農産園芸局長賞 | 沖　縄 | 大城　清利 | キク(切り花) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 岩　手 | 菅原　武男 | リンドウ(切り花) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 栃　木 | 田代　正行 | カーネーション(切り花) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 埼　玉 | 木村　実 | バラ(切り花) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 長　野 | 中村　元夫 | ディフィニウム等(切り花) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈　良 | 吉川　公彦 | キク等(花苗) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 徳　島 | 朝海　常祐 | キク(切り花) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 福　岡 | 高尾　保徳 | ゴールドクレスト等(花木) | |
| 9回(11年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 長　崎 | 小嶺　敏博 | コウチョウラン等(鉢物) | |
| 8回(10年度) | 農林水産大臣賞 | 岐　阜 | 間宮　敏昭 | ハイビスカス等(鉢物) | |
| 8回(10年度) | 農林水産大臣賞 | 福　岡 | 井上　茂之 | トルコギキョウ等(切り花) | |
| 8回(10年度) | 農産園芸局長賞 | 埼　玉 | 戸谷　武雄 | シュッコンアスター(切り花) | |
| 8回(10年度) | 農産園芸局長賞 | 静　岡 | 服部　一夫 | クルクマ等(鉢物) | |
| 8回(10年度) | 農産園芸局長賞 | 京　都 | 清水　幸雄 | ケンガイキク(鉢物) | |
| 8回(10年度) | 農産園芸局長賞 | 長　崎 | 鹿山　雅勝 | カーネーション等(切り花) | |
| 8回(10年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 新　潟 | 渡邉　和芳 | ユリ(切り花) | |
| 8回(10年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 三　重 | 松尾　廣文 | シクラメン等(鉢物) | |
| 8回(10年度) | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈　良 | 吉本　利郎 | バラ(切り花) | |
| 7回(9年度) | 農林水産大臣賞 | 宮　城 | 平間　久義 | ハーブ等(苗物) | |
| 7回(9年度) | 農林水産大臣賞 | 静　岡 | とぴあ浜松農業協同組合<br>PCガーベラ販売部会 | ガーベラ(切り花) | 第37回農林水産祭<br>天皇杯受賞 |
| 7回(9年度) | 農産園芸局長賞 | 青　森 | 竹ノ原幸悦 | カーネーション等(切り花) | |
| 7回(9年度) | 農産園芸局長賞 | 埼　玉 | 立石　勝義 | ポインセチア等(鉢物) | |
| 7回(9年度) | 農産園芸局長賞 | 福　岡 | 南嶋精二朗 | ベゴニア等(苗物) | |
| 7回(9年度) | 農産園芸局長賞 | 長　崎 | 本田　敏秀 | カーネーション等(切り花) | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 7回（9年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐　阜 | フローラぎふOKI | カランコエ（鉢物） | |
| 7回（9年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 京　都 | 月本　雅治 | バラ（切り花） | |
| 7回（9年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 兵　庫 | 中岡　邦康 | カーネーション（切り花） | |
| 7回（9年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 大　分 | 市川　一清 | スイトピー等（切り花） | |
| 7回（9年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 沖　縄 | 渡久山　稔 | キク（切り花） | |
| 6回（8年度） | 農林水産大臣賞 | 栃　木 | 菱沼　軍次 | シクラメン等（鉢物） | |
| 6回（8年度） | 農林水産大臣賞 | 静　岡 | 大庭　孝史 | パキラ等（観葉植物） | |
| 6回（8年度） | 農産園芸局長賞 | 埼　玉 | 新　　博之 | カランコエ等（鉢物） | |
| 6回（8年度） | 農産園芸局長賞 | 京　都 | 寺内　一郎 | パンジー等（苗物） | |
| 6回（8年度） | 農産園芸局長賞 | 福　岡 | 大隈　博幸 | バラ等（切り花） | |
| 6回（8年度） | 農産園芸局長賞 | 沖　縄 | 外間　勝義 | キク等（切り花） | |
| 6回（8年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 宮　城 | 斉藤　達義 | シクラメン等（鉢物） | |
| 6回（8年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 群　馬 | 小嶋　　宏 | バラ（切り花） | |
| 6回（8年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐　阜 | 安保　幹太 | シンピジウム等（鉢物） | |
| 6回（8年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈　良 | 堀田　泰規 | プリムラ等（苗物） | |
| 6回（8年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 高　知 | 広岡　　稔 | アイリス等（切り花） | |
| 6回（8年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 高　知 | 小池　龍善 | キク等（切り花） | |
| 5回（7年度） | 農林水産大臣賞 | 岐阜 | 福田　　誠 | セントポーリア等（苗物） | |
| 5回（7年度） | 農林水産大臣賞 | 福岡 | 波佐間　廣美 | ディフェバキア等（観葉植物） | |
| 5回（7年度） | 農産園芸局長賞 | 群馬 | 萩原　久雄 | シクラメン等（鉢物） | |
| 5回（7年度） | 農産園芸局長賞 | 埼玉 | 千野　純一 | インパチェンス等（鉢物） | |
| 5回（7年度） | 農産園芸局長賞 | 大分 | 飯田花き生産組合<br>（代表）時松　　謙 | バラ等（切り花） | |
| 5回（7年度） | 農産園芸局長賞 | 沖縄 | 宮平　憲勇 | キク（切り花） | |
| 5回（7年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 宮城 | 手島　　徹 | シクラメン等（鉢物） | |
| 5回（7年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 長野 | 金本　達夫 | バラ（切り花） | |
| 5回（7年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 京都 | 矢野　伸太郎 | ストック（切り花） | |
| 5回（7年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈良 | 多田　　護 | ベニカナメモチ（植木） | |
| 5回（7年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 佐賀 | 水田　義雄 | キク（切り花） | |
| 4回（6年度） | 農林水産大臣賞 | 宮城 | 渡辺　　俊 | シクラメン等（鉢物） | |
| 4回（6年度） | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 金子　　正 | カラジューム等（鉢物） | |
| 4回（6年度） | 農産園芸局長賞 | 群馬 | 中山　忠義 | 洋ラン（切り花・鉢物） | |
| 4回（6年度） | 農産園芸局長賞 | 福岡 | 和佐野　喜代太 | コチョウラン等（鉢物） | |
| 4回（6年度） | 農産園芸局長賞 | 佐賀 | 中江　広域 | キク（切り花） | |
| 4回（6年度） | 農産園芸局長賞 | 大分 | 志賀　智貴 | ユリ（切り花） | |
| 4回（6年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 岩手 | 木村　勇一 | プラグ苗等（苗物） | |
| 4回（6年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 岐阜 | 林　　一郎 | ポインセチア等（鉢物） | |
| 4回（6年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈良 | 明崎　勝治 | ダリア等（切り花・球根生産） | |
| 4回（6年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 長崎 | 町田　一弘 | スイトピー等（切り花） | |
| 4回（6年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 鹿児島 | 利田　正明 | カーネーション等（切り花） | |
| 3回（5年度） | 農林水産大臣賞 | 茨城 | 鈴木　　隆 | ホウズキ等（鉢物） | |
| 3回（5年度） | 農林水産大臣賞 | 沖縄 | 亀谷　英雄 | キク等（切り花） | |
| 3回（5年度） | 農産園芸局長賞 | 秋田 | 三浦　康之 | トルコギキョウ等（切り花） | |
| 3回（5年度） | 農産園芸局長賞 | 群馬 | 小内　敬一 | アジサイ等（鉢物） | |
| 3回（5年度） | 農産園芸局長賞 | 埼玉 | 矢作　文夫 | カトレア等（鉢物） | |
| 3回（5年度） | 農産園芸局長賞 | 高知 | 山崎　廣美 | ユリ等（切り花） | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 3回（5年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 京都 | 森島　衛樹 | ハナショウブ等（切り花） | |
| 3回（5年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈良 | 吉川　喜一 | シクラメン等（鉢物） | |
| 3回（5年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 広島 | 沖野　高人 | （花木） | |
| 3回（5年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 福岡 | 田代　恒夫 | バラ等（切り花） | |
| 2回（4年度） | 農林水産大臣賞 | 栃木 | 渡辺　武雄 | コチョウラン等（鉢物） | |
| 2回（4年度） | 農林水産大臣賞 | 静岡 | 渡辺　　偉 | クレマチス等（苗物） | |
| 2回（4年度） | 農産園芸局長賞 | 岩手 | 畠山　正徳 | リンドウ等（切り花） | |
| 2回（4年度） | 農産園芸局長賞 | 群馬 | 大沢　憲一 | バラ（切り花） | |
| 2回（4年度） | 農産園芸局長賞 | 東京 | 浅沼　一治 | フェニックス等（鉢物） | |
| 2回（4年度） | 農産園芸局長賞 | 福岡 | 和佐野勝次 | リンドウ等（切り花） | |
| 2回（4年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 埼玉 | 町田　静吾 | バラ（切り花） | |
| 2回（4年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 長野 | 竹内　栄一 | バラ（切り花） | |
| 2回（4年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 京都 | 今村　喜和 | キク等（切り花） | |
| 2回（4年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 奈良 | 吉村　隆明 | インパチェンス等（鉢物） | |
| 2回（4年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 大分 | 藤原　博文 | キク（切り花） | |
| 1回（3年度） | 農林水産大臣賞 | 岩手 | 猿子　恵久 | アルストロメリア等（切り花） | |
| 1回（3年度） | 農林水産大臣賞 | 埼玉 | 本多　忠夫 | シクラメン等（鉢物） | |
| 1回（3年度） | 農産園芸局長賞 | 栃木 | 菱沼　軍次 | シクラメン等（鉢物） | |
| 1回（3年度） | 農産園芸局長賞 | 群馬 | 阪本　正次 | アジサイ等（鉢物） | |
| 1回（3年度） | 農産園芸局長賞 | 長野 | 筒井　基博 | シクラメン等（鉢物） | |
| 1回（3年度） | 農産園芸局長賞 | 岐阜 | 河本　弘元 | バラ（切り花） | |
| 1回（3年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 静岡 | 岩倉　廣治 | （観葉植物） | |
| 1回（3年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 京都 | 完岡　義清 | カキツバタ（切り花） | |
| 1回（3年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 広島 | 中本　博文 | ハボタン等（苗物） | |
| 1回（3年度） | (財)日本花普及センター会長賞 | 大分 | 時松　　謙 | バラ等（切り花） | |

**（参考資料２）**

# 第２７回花の国づくり共励会
# 花き技術・経営コンクール実施要領

１．目　的

我が国の園芸の将来を担い、かつ国民生活に潤いと安らぎをもたらすものとして重要な役割を担っている花きについて、生産分野の技術・経営の向上・発展を図ることを目的とする。

２．開催団体

（１）主　催　一般財団法人日本花普及センター
（２）後　援　農林水産省
（３）協　賛　一般社団法人日本花き生産協会
　　一般社団法人日本花き卸売市場協会
　　一般社団法人全国農業改良普及支援協会

３．出品資格

露地花きにあっては栽培面積が１ha 以上、施設花きにあっては栽培面積が５０ａ以上の花き生産を主とする農業者等であって、技術・経営に優れ、地域社会に支持と共感を得ているものとする。

４．出品方法

出品は、自薦、他薦を問わず、「花の国づくり共励会－花き技術・経営コンクール応募用紙」に所定の事項を書き込み、それに基づく経営及び活動の記録等の必要な資料を添付して提出する。

５．審査方法

（１）予備審査

一般財団法人日本花普及センターは、自薦、他薦を問わず応募用紙が提出された出品財について、書類審査等により本審査の対象となる出品財を選考する。

（２）本審査

付属資料２の審査委員は、付属資料１の審査基準に基づき書類審査、必要に応じて現地調査を実施して、公正な審査を行う。

６．表　彰

（１）特に優秀と認められた出品財に対して農林水産大臣賞（２点）、優秀と認められた出品財に対して生産局長賞（４点）、一般財団法人日本花普及センター会長賞（数点）をそれぞれ授与する。

（2）農林水産大臣賞出品財は、国の定める「農林水産祭表彰要領」に基づき天皇杯等の選賞資格を有する。

（3）次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあっては、夫婦連名で表彰することができる。

但し、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞並びに生産局長賞に限る。

① 家族経営協定を締結していること。

② 推薦書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が概ね５割に達していると確認できること。

③ 農業改良普及センターなどの現場指導組織による意見書が添付されていること。

なお、推薦の段階で夫婦連名であるものについては、一般財団法人日本花普及センター会長賞についてもこれに準ずる。

７．事　務　局

標記コンクールを実施するため、事務局を一般財団法人日本花普及センター内に設置する。

８．開催日程

（1）出品募集期間　　平成２９年８月２５日（金）～１１月３０日（木）

（2）予備審査　　平成２９年１２月

（3）本審査　　平成３０年１月１２日（金）
東実健保会館　６階「談話室」

（4）現地調査　　平成３０年２月２０日（火）　愛知県　藤目　方敏
平成３０年２月２１日（水）　岐阜県　戸﨑　明

（5）表彰式　　平成３０年３月１３日（火）１３：３０～
学士会館（東京都千代田区神田錦町 3-28）

**（付属資料１）**

## 花き技術・経営コンクール審査基準

1　立地条件を活かした合理的、安定的な経営であること
2　経営に計画性と展望をもち、近代化、拡大化の方向をたどっていること
3　消費動向を的確にとらえ、消費者ニーズに応える経営を行っていること
4　栽培技術は、科学的基礎に基づき、その水準が高く優れ、改善意欲が盛んなこと
5　生産基盤の整備、資本整備の投資がかなり行われ、その利用効率が高いこと
6　土地利用及び労働力利用が合理的であること
7　生産性が高く所得が水準以上と認められること
8　労働軽減等により、ゆとりある農業を実現していること
9　環境保全に対する工夫や配慮が見られること
10　国際化対応を考慮した経営がなされていること

**（付属資料２）**

## 第27回(平成29年度) 花き技術･経営コンクール審査員名簿

| 氏　名 | 所 属 ・ 役 職 |
|---|---|
| 腰岡　政二 | 日本大学　生物資源科学部　教授 |
| 土井　元章 | 京都大学大学院　教授 |
| 河野　恵伸 | 国立研究開発法人農業･食品産業技術総合研究機構<br>食農ビジネス推進センター　食農ビジネス研究チーム長 |
| 長村　智司 | 一般社団法人フラワーソサイエティ　会長 |
| 田島　鉄弥 | 一般社団法人日本花き生産協会　顧問 |
| 長岡　　求 | 株式会社フラワーオークションジャパン　取締役　花の広報室長 |

**第２７回花の国づくり共励会**

**花き技術・経営コンクール受賞者の業績概要**

平成３０年３月発行

**編集・発行　一般財団法人日本花普及センター**
**〒103-0004　東京都中央区東日本橋３－６－１７　山一ビル４階**
**TEL：０３－３６６４－８７３９　　FAX：０３－３６６４－８７４３**
**e-mail：jfpc@jfpc.or.jp　　URL：http://www.jfpc.or.jp**

いいこと
あった日、
花を買う。

花っていいよね。キャンペーン